

梅鶯仏教壮年会報

第146号
2018年
1月20日

1月例会

期日：1月28日（日）

時刻5時～6時半

プログラム

お勤め

法話

『浄土真宗のみ教え』

《他力本願》

放談会（自由に話しましょう）

仏教讃歌斉唱

自分自身さえ自分の思い通りには、
なかなかならない。

「してみれば、
他人を自分の思い通りにしよう」
などと思うのは、はなはだしい
了簡ちがいてから、は、
腹の立つことや、癪にさわるこ
とで、肩がこらない。
ともなく、

新年のご挨拶

会長 森 勝昭

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成三十年の輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。



昨年は、定例会・一泊研修旅行は神戸別院参拝など梅鶯仏教壮年会の諸活動にご参加を頂き、誠に有り難うございました。

年末には恒例の竹灯籠の夕べを行いました。手作りの用具で豆腐田楽を焼き、今年も田中薫様からは前日から仕込みされた、プロ並みのおいしいおでんを頂き、この一年間の反省をしました。

昨年は、国の内外ともに激動の一年でした。七月には九州北部の記録的豪雨による被害、その前の年は、熊本中部地方の巨大地震が起き、自然災害の恐ろしさを知らされました。

世界に目を向ければ、宗教・民族の対立におけるテロや政府軍と

反政府軍の対立で多くの命が失われている。命の大切さ、尊さを大事にする世の中になってほしいものです。

私達は仏教壮年会の活動を通して、本当の幸せ、本当の豊かさは何なのかを研鑽して、仏法に出会い、仏縁を深めて行きたいものです。

梅鶯仏教壮年会は平成十五年六月一日に設立して今年は十五年目の節目となりました。

まだまだ未熟ですが、法輪寺住職長野了法様のご指導の下、気楽に参加して尊いご縁を頂きながら、「明日から」「そのうち」と云わず「今」を大切に生きたいものです。

梅鶯仏教壮年会の輪の広がりを願います。素晴らしい年になり申すように念じ申し上げます。梅鶯と致しまして、合掌

2017竹灯籠の夕べ



ました。
ただし、実際の話しの内

ました。ただし、実際の話しの内容は、私達の梅鶯仏壮の活動内容を紹介することにより、坂田組における仏壮のより一層の活動を促そうとするものでした。

非常に限られた時間だったのですが、実に分かりやすく、端的に梅鶯仏壮の内容を紹介して下さり、私もついつい聞き入ってしまいました。

その薫さんの話しの中で特に印象的だったのは、梅鶯仏壮が「親睦的な会としてだけでなく、実質的な聞法の会である」ということを皆さんに分かってもらうために、会報第32号（2006年3月）に投稿頂いた、北村幸雄さんの「梅鶯仏壮の3年を振り返って」という記事を、全文読んで紹介されたことでした。

10年も前の記事なのですが、改めて有り難い記事の内容であつたと振り返ると共に、10年以上経った今でも、その記事で幸夫さんが仰つて



ます。そして現在を、1年の終わりであります大晦日12月31日の夜中の12時とし、宇宙の歴史を1年間に置き換えようとするものです。

非常に面白いのでちょっと紹介致します。

①銀河系の始まり5月1日 宇宙の中で地球が存在する空間を「銀河系」と呼びますが、その銀河系が宇宙の中で成立し始めたのは、春も終盤にさしかかった5月1日頃になるそうです。

②太陽系の起源は9月9日 そしてその銀河系の中で私達の地球は太陽を中心として存在しますが、これがいわゆる「太陽系」で、秋を迎えた9月9日頃ようやく存在し始めるのです。

③地球の成立は9月14日 そしてその太陽系の中でいよいよ地球が成立するのが9月14日です。

私達の地球は、秋の季節を迎えてようやく宇宙の中で顔を出すのです。

次号につづく

「竹灯籠の夕べ」 住職法話より